

卒業論文

卒業論文タイトル（日本語）

山中 春樹

指導教員：〇〇 教授

〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科

2025 年 2 月

要旨

本研究では～～～（200～400 字程度）。研究目的、手法、結果、結論を簡潔にまとめる。

Abstract

This thesis investigates ... (about 150–250 words). 変えてみたぜ。

目次

第 1 章	序論	4
1.1	背景	4
1.2	目的	4
1.3	本論文の構成	4
第 2 章	関連研究	5
2.1	骨格認識	5
第 3 章	提案手法	6
第 4 章	実験	7
4.1	設定	7
4.2	結果	7
第 5 章	考察	8
第 6 章	結論	9

図目次

4.1	サンプル図（差し替えてください）	7
-----	------------------	---

表目次

第 1 章 序論

本章では研究の背景・目的・貢献・論文構成について述べる。

1.1 背景

……本文……

1.2 目的

……本文……

1.3 本論文の構成

本論文の構成は以下の通りである。第 2 章で関連研究，第 3 章で提案手法，第 4 章で実験，第 5 章で考察，第 6 章で結論を述べる。

第 2 章 関連研究

関連研究を体系的に整理・比較する。

2.1 骨格認識

この研究は [1] と [2] に基づいて行われる。

第 3 章 提案手法

手法の概観，詳細，アルゴリズム，計算量，実装条件など。

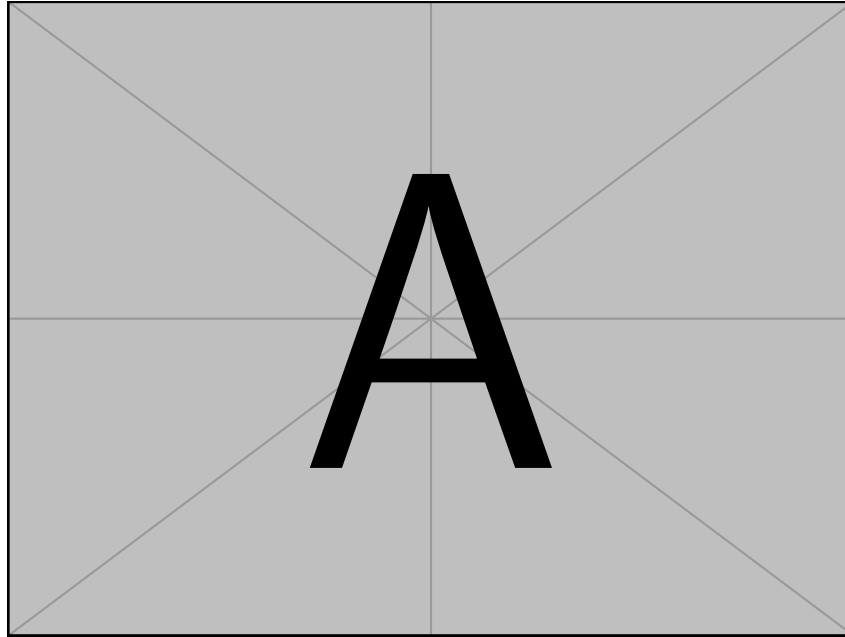


図 4.1 サンプル図（差し替えてください）

第 4 章 実験

4.1 設定

データセット，評価指標，ハイパーパラメータ等。

4.2 結果

図表を交えて結果を報告する（例：図 4.1）。

第 5 章 考察

結果の解釈，限界，失敗事例，将来課題など。

第 6 章 結論

本研究のまとめと今後の展望。

謝辞

本研究の遂行にあたり，ご指導いただいた～～～教授に深く感謝いたします。研究室の皆様，家族にも感謝します。

Bibliography

- [1]John Doe and Aiko Tanaka. An awesome method for something. *Journal of Interesting Results*, 12(3):123–145, 2023.
- [2]Leslie Lamport. *LaTeX: A Document Preparation System*. Addison-Wesley, 1994.